

調査結果比較（府・国）

分類	調査項目	調査内容	病院施設用		病院医師用		診療所用		薬局	
			府調査	国調査	府調査	国調査	府調査	国調査	府調査	国調査
剤の後 状況 処方 ／ 薬品 調	DPC対応状況	参加	40.2%	29.0%	-	-	-	-	-	-
	後発医薬品使用体制加算 ※1（調剤体制加算※2）の 状況	加算1	23.4%	19.9%	-	-	-	-	33.5%	40.4%
		加算2	8.6%	10.6%	-	-	-	-	17.0%	28.2%
		加算3	3.1%	-	-	-	-	-	-	-
環境を 後発 使用 する 薬品	オーダーリングシステム導入状況	導入あり	55.1%	54.9%	-	-	52.5%	50.2%	-	-
	医薬品の採用状況、採用 する時に重視すること	情報充実	-	69.5%	-	-	-	38.3%	50.8%	45.4%
		安定供給	-	75.1%	-	-	-	24.3%	86.4%	73.3%
		適応症が同一	-	69.7%	-	-	-	37.8%	63.4%	57.0%
医師 ／ 薬剤師 と 後発 医薬品 との 関わり	後発医薬品の使用方針 （非積極的以外）	イ. 入院患者への処方 （対象：病院）	90.6%	88.8%	68.7%	-	-	-	-	-
		ロ. 外来患者への院内処方 （対象：病院・診療所）	92.5%	70.2%	75.8%	76.9%	64.2%	71.1%	84.8%	95.0%
		ハ. 外来患者への院外処方 （対象：病院・診療所）	93.4%	61.1%	60.6%	85.2%	60.1%	78.2%	-	-
	後発医薬品に対する 不安（不信感）の有無 （対象） 府：非積極的以外 院外処方のみ 国：全員 （調査内容） 府：不安の有無・理由 国：不信感の有無・きつ かけ	不安（不信感）あり	55.6%	66.9%	33.8%	54.9%	31.8%	65.8%	48.2%	-
		先発医薬品との効果等の違い	42.5%	30.3%	22.7%	37.3%	26.0%	46.6%	35.1%	-
		添加剤が異なるため、同等の品 質が得られない	29.9%	-	16.7%	-	16.1%	-	22.0%	-
		性状・使用感が異なる	23.9%	28.8%	10.6%	21.2%	13.9%	30.3%	29.1%	-
		情報が不足	27.1%	11.2%	15.6%	12.7%	10.7%	13.8%	9.4%	-
		安定供給されない可能性	-	45.6%	-	15.2%	-	17.2%	29.6%	-
	「後発医薬品を積極的に は処方・調剤しない」と した理由	患者の希望	1.4%	1.5%	12.1%	3.3%	10.8%	5.5%	69.4%	-
		府：効果が異なるように思う 国：品質(効果・副作用)に疑問	2.8%	6.1%	21.2%	11.5%	26.9%	15.5%	40.8%	16.5%
		情報不足	1.4%	1.5%	11.6%	6.3%	16.1%	9.0%	6.1%	6.0%
		安定供給されない可能性	-	3.0%	-	3.0%	-	4.2%	40.8%	11.2%
在庫管理の負担		-	-	-	-	-	-	34.7%	15.5%	

※1 診療報酬改定により、基準が異なる。国調査時（旧指標で加算1：30%以上、加算2：20%以上）、府調査時（新指標で加算1：70%以上、加算2：60%以上、加算3：50%以上）

※2 調剤報酬改定により、基準が異なる。国調査時（加算1：55%以上、加算2：65%以上）、府調査時（加算1：65%以上、加算2：75%以上）